

「パーソナルサポートひらかた」では、障害当事者やご家族、支援者を対象にさまざまなテーマで土曜セミナーを開催しています。
今回取り上げたテーマは、「視覚障害」です。



土曜セミナー

テーマ：「目が不自由な人の日常とは」

視覚障害について学び、生活の場における支援のあり方を考えます

講師：赤嶺 幸子さん（社会福祉法人そうそうの杜）

プロフィール／社会福祉法人日本ライトハウス職業・生活訓練センター（現：リハビリテーションセンター）で、視覚障害者歩行訓練士として勤務。現在は、社会福祉法人そうそうの杜で、視覚障害者・盲重複障害者のガイドヘルプやホームヘルプに従事している。

目が不自由な人は、日常生活でどのような制限を受けているのでしょうか？
一口に目が不自由と言っても、光を全く感じない人、周りが見えるが中心視野の欠損やその逆の場合、また視野の一部が欠損しているなど、原因や疾患によって見え方はさまざまです。
実はこの見え方は、ご本人にしか理解できないことが多く、私たちが実感的に分かるのはとても難しいことです。セミナーでは、約4ヶ月間アイマスクをかけて生活し、見えない世界の体験や訓練の見学、実習などを体験された赤嶺さんにお話を伺います。「技術的な面や心理的な面でも当事者により近い体験ができたことは、視覚障害のある人と関わっていく原点」とおっしゃる赤嶺さんから、暮らしの場で求められる具体的な支援を学び、視覚障害に対する知識と理解を深めます。後半では、参加者のみなさんに実際にアイマスクをして「見えない」体験をしてもらいます。そこでの行動をフィードバックする中で、感じたことや気づき、必要な支援等についてディスカッションを予定しています。

場 所：ラポールひらかた 研修室2（3F）

時 間：13：30 ～ 15：30

参加費：無料

定 員：30人 申込：電話かファックスで申し込んで下さい。

特定非営利活動法人パーソナルサポートひらかた
573-0011 枚方市中宮山戸町10-12-105 担当（樹神）
tel.072(848)8825 fax.072(848)7920 E-mail pa-so@nifty.com